

令和5年度 国語科「総合現代文」シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科 2年 A組～H組
教科書	「新編文学国語」(大修館書店) 「新論理国語」(三省堂)	副教材等	「最新国語便覧」(浜島書店)

1 学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 (2)論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3)言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
--

2 学習の計画

月	育成する資質能力	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価材料
4	・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために、必要な語句の量を増やし文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。	論点を整理する	「若者に友達プレッシャー」辻大介	・「友達プレッシャー」とはどのようなことかまとめる。 ・「同輩集団以外の多様な関係を取り結べる環境を整えていくことではないか」と言えるのはなぜか、説明する。 ・〈言語活動〉 - ラジオ番組の投書に対する回答を考え、発表する。	小テスト 行動観察 ワークシート分析
5					
6					
7	・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増やし、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。	小説を楽しむ	「ナイン」井上ひさし	・場面の設定の仕方を通して登場人物の心情を考える。 ・情景描写の効果を考えながら読む。 ・〈言語活動〉 - さまざまな文学賞の性格や対象を知り、受賞作品について紹介する。	小テスト 行動観察 ワークシート分析
			期末考査	「新編文学国語」p.40～55 「新論理国語」p.18～35、p.66～68	期末考査
9	・文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めることができる。	事例の意味を探る	「多様な視点から考える」前田健太郎	・本文で取りあげられている事例の役割とその効果を整理する。 ・「粘り強く対話を続けるしかない」という筆者の主張について、話し合う。 ・〈言語活動〉 - 文章の構成や明確さを意識して意見文を書く。	小テスト 行動観察 ワークシート分析
10					
11					
	・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めることができる。	名作を読む	「山月記」中島敦	・登場人物の生き方から、自分自身の生き方に関する考えを深める。 ・漢文訓読調の文章の魅力を味わう。 ・〈言語活動〉 「人虎伝」と比較して、その違いから作者の意図を読み取り、発表する。	小テスト 行動観察 ワークシート分析
12					
	・経済・商業における貨幣の役割変化や変遷を学びながら、現代社会の貨幣経済の有り様を学術的な視点から理解できる。	構成を吟味し説得力を高める	「ホンモノのおカネの作り方」岩井克人	・具体例を手がかりに「ホンモノのおカネ」が生まれる「逆説的作用」とは何か、まとめる。 ・「ホンモノのおカネを作る」には何が必要か指摘する。 ・〈言語活動〉 - 情報を整理し、伝えたい内容を明確にして、レポートを書く。	小テスト 行動観察 ワークシート分析
			期末考査	「新編文学国語」p.90～112 「新論理国語」p.95～100、p.133～141、p.153～158	期末考査

1	・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めることができる。	社会に生きる	「靴」安部公房	・小説を読む楽しさを味わう。 ・この話に込められた寓意を読み取り、考えを深める。 ・〈言語活動〉 小説を読んで、様々な職業や生き方に触れる。	小テスト 観察 シート分析	行動 ワーク
2						
3	・情報を重要度や抽象度などによって階層化し、整理する方法について理解を深めることができる。	信頼性を吟味する	「なぜ私たちは労働するのか」内田樹	・「受験勉強とバイトという二種類の『ワーク』の経験から導きだした労働観」とはどのようなものか、それぞれ説明する。 ・筆者の考える「労働の本質」とはどういうことか、まとめる。 ・〈言語活動〉 主張を支える論拠として情報の妥当性や信頼性を吟味し、投書を書く。	小テスト 観察 シート分析	行動 ワーク
			学年末考査	「新編文学国語」p.134～141、 p.154～156 「新論理国語」p.171～176、p.187～191	学年末考査	

3 評価の観点

知識・技能	(1)言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にすることを理解している。 (2)論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増やし、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 (3)文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めている。 (4)文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。
思考・判断・表現	【書く能力】 (1)実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について、書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めることができる。 (2)情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえること。 (3)文学的な文章を書くために、選んだ題材に応じて情報を収集、整理して、表現したいことを明確にしている。 【読む能力】 (1)文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている。 (2)主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 (3)語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。
主体的に学習に取り組む態度	(1)実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けようとしている。 (2)論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしようとしている。 (3)言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。

4 評価の方法

「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に取り組む態度」から評価する。
また、評価の方法については、定期考査の成績、作成した表現物、授業中に実施する評価テスト、授業への参加度等を評価する。

5 担当者からのメッセージ(確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)

- ・チャイムがなったら着席しましょう。
- ・教科書等の学習道具は休み時間に用意をしましょう。
- ・授業に主体的に参加しましょう。
- ・提出物等は期限を守って忘れずに提出しましょう。
- ・普段から予習・復習の学習習慣を身につけましょう。
- ・授業では必ず辞書(電子辞書も可)を用意しましょう。